

2022 年度事業報告及び決算報告

2022 年度事業報告

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

2022 年度は新型コロナウイルス感染予防のための行動制限が緩和された環境下ではありましたが、すべての活動に対して“新型コロナウイルス感染防止に向けた北海道森林ボランティア協会ガイドライン”を遵守して協会員、参加者の健康と安全を第一に取り組んできました。

活動にあたり事業の継続性を念頭に 2022 年度をスタートしました。

2017年度に『2018澄川環境林基本計画』として第4次5ヶ年計画を策定しその目標を踏まえて5年目最終年の事業を行いました。また2023年度にスタートする「新5ヶ年計画」として検討委員会を立ち上げ、会員例会を経て新たに「森ボラの第5期5ヶ年計画（2023～2027年度）」を策定しました。

2002年の会の発足から継続している植栽・整理伐を中心とした実践活動と2015年から始めた次世代の子供たちに森に親しみをもって貰える自然体験型教育活動は、ほぼ計画通りに活動を行う事が出来ました。

澄川南小学校の澄川環境林での野外学習は小学3年生から6年生まで12機会、延べ参加生徒数は715名となりました。親子森林教室は小学生14名とその保護者が参加してスケジュールの変更も無く計画通りカリキュラムを進める事が出来ました。

支笏湖国有林の活動も3年ぶりに計画通りの作業を実施する事ができました。

また、10月には澄川都市環境林において協会創立二十周年の式典が来賓30名、協会員および家族34名参加により盛大に開催されました。

この1年間の活動を以下の通り報告します。

現場での活動機会は124機会、延べ参加人数は1,637人、内部企画は25機会、延べ参加人数は334人でした。2023年3月31日現在の会員数は70名です。

【札幌市都市環境林】

〔有明第二都市環境林〕機会5回 参加延べ人数36名

札幌市30林班14.0haでは、避難小屋前のギャップ地の下草刈り、食害防止網補修を重点的に行いました。

〔澄川都市環境林〕機会85回 参加延べ人数1,233名

札幌市55、56林班88.58haでは、『澄川環境林基本計画』の第4次5ヶ年計画をベースに、引き続き育林実践活動と教育支援活動を継続しています。

4年目を迎えた右精進川の水質・水生生物生息調査は5月、7月、9月の三回実施し、札幌市環境共生担当課と情報共有を図り、調査結果を協働型生き物調査結果集計業務として札幌市に報告しました。

森ボラ協議会にかかる活動内容は第三号議案で報告します。

〔西野第二環境林〕機会1回 参加人数10名

札幌市199林班4.42haは西区西野の「琴似発寒川平和溪流公園の森」に近接した都市環境林で、この活動は一昨年引き続き外来種ニセアカシアの萌芽処理、整理伐、笹刈り、生長調査を行いました。

【道有林】

〔野幌森林公園道有林〕 機会 11 回 参加延べ人数 105 名

2018 年 9 月の台風で被害を受けた野幌道有林（空知管理区 169 林班 2.39ha 親子の森）は北海道空知総合振興局と 2020 年 3 月に 5 年間の覚書を交わし、『野幌の森再生事業』として継続しています。

2022 年度分として残った 85 小班 0.33ha に、9 月には親子森林教室の関係者で植樹祭を開催し、12 樹種 50 本の苗を、防草シートを用いて植栽しました。また、10 月にそれ以外のところに 135 本の針・広葉樹苗を植えハイトシェルターを設置しました。更に、次年度から取り掛かる 87 小班一部の草刈りを行いました。これらは北海道空知総合振興局森林室からも支援を受けスムーズな活動に繋がっています。

【国有林】

〔野幌森林公園国有林〕 機会 9 回 参加延べ人数 95 名

野幌国有林（49・50 林班 18.4ha 野幌トトロップの森）は石狩森林管理署と 2021 年末に 2023 年 3 月までの協定が結ばれ実活動としては初めての活動となりました。手始めに 49 林班た、へ小班的の地拵えを行い 10 月にオイスカ・ユネスコ植樹祭が開催され総勢 61 名参加しました。

〔支笏湖復興単独事業地〕 機会 1 回 参加人数 16 名

支笏湖復興の森（5218 林班、1.12ha）の育林活動は 2007 年に植栽したトドマツ 940 本が 13 年目となり、トドマツ標準列の生長調査を行った結果、平均樹高は 3.77m と順調に成長している事を確認したため、今年度を活動最終年としました。

〔支笏湖 水明郷の森〕 機会 4 回 参加延べ人数 42 名

水明郷の森（5456 林班 17.82ha）は、昨年まで多面対策事業として活動してきましたが、今年度からは単独事業として育林活動を継続しています。昨年植樹したトドマツ 300 本の根踏み、下草刈り、生長調査を行いました。

〔支笏湖 CGC 烏柵舞の森〕 機会 5 回 参加延べ人数 59 名

烏柵舞の森（5334 林班 22.72ha）は 2012 年から植栽したアカエゾマツの生長調査を行い、平均樹高が 2m を超え順調に成長している反面、広葉樹は鹿等の食害により壊滅状態となっており、9-3 列に試験的に広葉樹 50 本の植栽と食害防止用ハイトシェルターを設置しました。

9 月には CGC 烏柵舞の森完了記念としてハルニレ 2 本の植樹式が行われました。

〔支笏湖 復興コンサ百年の森〕 機会 1 回 参加人数 16 名

コンサ百年の森（5460 林班、11.63ha）は植栽後 14 年が経過し、トドマツの標準列は生存率が 88% 平均樹高は 2.34m となり、順調に生育している事が確認されたため、生長調査と作業道の整備を行い、今年度を活動最終年としました。

〔支笏湖 復興道新ぶんぶんの森〕 機会 2 回 参加延べ人数 25 名

北海道新聞社ぶんぶんの森（1355 林班 7.09ha）は 2009 年に植栽して 13 年目を迎え、植栽列が自生したカラマツで厚く覆われて、植栽したトドマツの成長が阻害されている状況でした。昨年 7 月、9 月に試験列および標準区を設定し、除伐率 20%、33% の試験列を整備しました。6m×6m の標準区のカラマツ本数は除伐前 25,000/ha 本、除伐後 16,000/ha 本と依然として過密状態となっています。また、カラマツの樹高は最高 610 cm、最低 190 cm、平均 410 cm となっていました。今後も周辺環境の変化を考慮しながらカラマツの生長を見守っていきたいと思います。

【教育支援・その他】

〔親子森林教室・森しり隊活動〕機会7回 参加延べ人数103名(機会・人数共に澄川等の活動と重複)

子どもたちが森に親しみ、森を育てる活動をする親子森林教室は7年目となりました。今年度は、小学生14名とその保護者が参加しています。幸いにも天候に恵まれ、コロナ感染防止対策をしっかり講じた上で、スケジュール予定通り7回開催しました。外部の延べ参加者は子ども82名、保護者65名、計147名でした。

第1回は4月に開校式と植菌、第2回は6月に播種とチップ作業など、第3回は7月に下草刈りと工作とホテル観賞、第4回は9月に野幌道有林で植樹祭を開催しました。

第5回は10月に「秋の森の大運動会」と称してスタンプラリー方式で森を歩きながらノコギリ体験、腐葉土観察、葉っぱのビンゴなどの活動を行いました。第6回目は今年2月に冬の森の観察、整理伐体験をしてソリ遊びを楽しみました。第7回最終回は3月に、子どもたちが自らドリルでイタヤカエデに穴を開け樹液を味わい、修了式では子どもたち全員から1年間の感想を発表してもらいました。最後にオリジナルの終了証書を贈って、参加した子どもたちや親の満足顔に手ごたえを感じて1年の活動を終わりました。

〔澄川南小学校〕機会12回 参加延べ人数63名(機会・人数共に澄川の活動と重複)

澄川都市環境林で引き続き観察会と、各学年でテーマを設け森で観察する活動を支援しました。

3年生は樹名板の取付と葉っぱの役割、澄川の生き物の話を学習、4年生は春夏秋冬森の変化と葉っぱ並びに冬芽の話を学習、5年生は葉っぱが紅葉する仕組みと市道沿いの森の清掃活動を行いゴミが森・海に及ぼす影響に関心を示す生徒もいました。6年生は用意してきたテーマに沿っての活動と卒業記念植樹を行いました。又、各学年ともマイツリーの周長測定を行い毎年の生長を確認しました。延べ参加生徒数は715名でした。

〔企業のCSR活動支援〕機会4回 参加延べ人数35名(機会・人数共に澄川の活動と重複)

株じょうてつが社会貢献活動(CSR)として、澄川都市環境林において森づくり活動を今年度から3年間にわたって行うことになり、森ボラがそれをサポートすることになりました。

5月にはじょうてつの社長他役員、札幌市みどりの管理部、森ボラ協会が参加して記念植樹式を行って活動をスタートさせました。

第1回目は6月にじょうてつの社員13名が参加して、澄川都市環境林を歩いて森の様子を見学、チップ作業を体験し植樹予定地の草・笹刈りを行いました。第2回目は8月に社員11名が参加して、森の散策、薪割り体験、植樹予定地の地拵えを行いました。第3回目は10月に社員13名で清掃活動とA1、E2地区で植樹(針葉樹8本、広葉樹54本)を行い、広葉樹には防獣対策としてハイトシェルターを設置しました。第4回目は2月に社員12名がスノーシューを履いてD8区で整理伐を行いました。じょうてつ社員延べ49名の参加者からは貴重な体験を出来た事の評価をいただきました。

1 森林保護・育成活動まとめ（多面対策事業を含む）

上段計画

下段実績

活動地名	面積 (ha)	実施内容	作業目的	回数	参加 延べ 人数	摘 要
都市環境林 有明第二 (札幌市 30 林班)	14.00	笹地還林植栽 針広混交林育林	倒木処理 食害防止網設置 生長調査	6 5	70 36	
都市環境林 澄川 (札幌市 55, 56 林班)	88.58	澄川環境林基本 計画に基づき巨 木の森を目指す	整理伐、キノコ 栽培、薪作り、 ホタル生息環境 保全	88 85	1,300 1,233	活動拠点基 地、多面対 策事業
都市環境林 西野第二 (札幌市 199 林班)	4.42	ニセアカシアの 除伐、郷土樹種 の保護	整理伐 ニセアカの萌芽 処理	1 1	15 10	
野幌森林公園 道有林 (空知管理区 169 林班 85・87 小班)	1.33	風倒被害地復興 針広混交林育林 管理	地拵え、下草刈 り、植栽、食害防 止網の設置	10 11	150 105	野幌の森 再生事業
野幌森林公園 国有林 (49・50 林班)	18.4	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	10 9	150 95	
国有林支笏湖 復興の森 (5218 林班)	1.12	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	1 1	15 16	育林管理継 続
国有林支笏湖 水明郷の森 (5456 林班)	17.82	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 植栽 育林管理	4 4	60 42	生長調査 継続、
国有林支笏湖 CGC 烏柵舞の森 (5334 林班)	22.72	台風被害地復興 針広混交林植 栽、育林管理	植栽 下草刈り 人力地拵え地区 の整備	5 5	75 59	植栽作業継 続
国有林支笏湖 コンサ百年の森 (5460 林班)	11.63	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	1 1	15 16	育林管理継 続
国有林支笏湖 ぶんぶんの森 (1355 林班)	7.09	台風被害地復興 針葉樹育林管理	下草刈り	3 2	45 25	育林管理継 続
その他	幌南の森、マチなかNPO、道民森づくり の集い			3 0	30 0	
計				132 124	1,925 1,637	

2 教育支援・その他

上段計画

下段実績

場 所		回数	参加 延べ人数	概 要
親子森林教室 “森しり隊”	澄川環境林・野幌道有林	7	120	森づくり体験学習
		7	103	
澄川南小学校 ・総合学習支援	澄川環境林・校内学習	15	75	自然観察会、清掃活動、 記念植樹、ネームプレート作成
		12	63	
幌南小学校・自然学習	藻岩山幌南の森	1 0	10 0	遊歩道整備
(株)じょうてつ ・CSR活動支援	澄川環境林	-	-	下草刈り、地拵え、植樹、 清掃活動、整理伐
		4	35	
計		23	205	
		23	201	

(注) 上記活動の回数および延参加延べ人数は「1. 森林保護・育成活動(多面対策事業を含む)」のそれぞれの活動地に含まれています。

3 内部企画

上段計画

下段実績

上段計画

下段実績

1. 自主企画		
日程	企画名	参加延べ 人数
5月	理事会(5月9日)	11 10
	総会(5月9日)	20 20
8月	納涼会(8月10日)	15 中止
10月	20周年記念式典 (10月2日)	25 26
	研修旅行(10月)	25 中止
11月	理事会(11月8日)	11 10
12月	忘年会 (11月30日～12月1日)	20 22
通年	幹事会等(毎月+臨時)	169 131
計		296
		219

2. 冬季セミナー他		
日程	企画名	参加延べ 人数
4月5日	会員例会・講演 (前年度延期分)	20 19
4月21日	会員例会 (前年度延期分)	20 15
12月15日	会員例会・セミナー1	20 17
1月19日	会員例会・セミナー2	20 20
2月22日	会員例会・セミナー3	20 21
3月15日	会員例会・セミナー4	20 23
計	参加機会・6回 (前年度延期分含む)	120 115

2022年度 会計収支計算書

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	130,000		
入会金・参加費	18,500		
賛助会員受取会費	602,000		
		750,500	
2. 受取寄附金			
受取寄付金	3,124,440		
		3,124,440	
3. 受取助成金等			
助成金	2,636,627		
		2,636,627	
4. 事業収益			
事業収益	0		
		0	
5. その他収益			
20周年事業準備金	2,000,000		
受取利息・雑収入	15,420		
		2,015,420	
経常収益計			8,526,987
II 経常費用			
1. 事業費			
C G C事業	442,770		
子どもゆめ基金	544,050		
野幌再生事業	542,882		
太陽財団	487,129		
20周年事業	1,392,948		
その他事業費	779,918		
その他経費			
旅費交通費	960,000		
通勤手当	1,092,110		
消耗品費	188,598		
車両費	70,088		
保険費	63,960		
研修費	111,260		
業務委託費	240,500		
雑費	190,020		
その他経費計	2,916,536		
事業費計		7,106,233	
2. 管理費			
通勤手当	345,040		
会議費	68,000		
通信運搬費	204,368		
消耗品費	8,800		
地代家賃	209,520		
租税公課	5,600		
管理費計		841,328	
経常費用計			7,947,561
当期経常増減額			579,426
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益			
		0	
経常外収益計			
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損			
		0	
経常外費用計			
税引前当期正味財産増減額			579,426
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			579,426
前期繰越正味財産額			8,655,448
次期繰越正味財産額			9,234,874

2022年度 財産目録

2023年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手元現金	158,344	
普通預金（北洋銀行札幌市役所支店）	2,606,164	
普通預金（北海道銀行中央支店）	4,005,337	
普通預金（ゆうちょ銀行）	201,712	
普通預金（GMOあおぞらネット銀行）	2,245,317	
未収金		
事業未収金	0	
流動資産合計		9,216,874
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
電話加入権	22,000	
有形固定資産計		22,000
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計		0
(3) 投資その他の資産		
投資その他の資産計		0
固定資産合計		22,000
資産合計		9,238,874
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	0	
預り金	4,000	
流動負債合計		4,000
2. 固定負債		
長期借入金		
銀行借入金		
固定負債合計		0
負債合計		4,000
正味財産		9,234,874

2022 年度 貸借対照表

2023 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	9,216,874	
未収金	0	
流動資産合計		9,216,874
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
電話加入権	22,000	
有形固定資産計	22,000	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		22,000
資産合計		9,238,874
II 負債の部		
1. 流動負債		
預かり金	4,000	
流動負債合計		4,000
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		4,000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	8,655,448	
当期正味財産増減額	579,426	
正味財産合計		9,234,874
負債及び正味財産合計		9,238,874

監査報告書

第21期定期総会(2022年度活動に関わる)

NPO法人北海道森林ボランティア協会決算報告書に関わる会計書類を監査しました結果、適正にかつ正確に処理されていることを認めます。

2023年4月25日

NPO法人北海道森林ボランティア協会

理事長 横山 清 殿

NPO法人北海道森林ボランティア協会

監事 谷口 哲也 

監事 安達 寿夫 

監事 佐野 礼子 